

(別添資料1)

事業所名

多機能型通所支援どんぐり

支援プログラム（参考様式）

作成日

6 年

11 月

25 日

法人（事業所）理念		誰もがその子らしく、一人一人のニーズに合わせて柔軟にサービス提供します。										
支援方針		障害の有無にかかわらず、全ての子どもたちが、自分らしく過ごすことが出来るよう、様々な特性を持つ子供同士共に過ごし、社会性をはぐくみながら、自信に繋げる力を身につける。										
営業時間		9	時	0	分から	17	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	来所時の、検温や状態観察、言動から健康状態を把握。体調に変化がある時は、保護者に連絡、受診を促す。 集団生活の中で、必要となる生活スキルを指導します。 食事面では、注入メインですが、経口摂取出来る子も同様、咀嚼・嚥下、姿勢保持等に関する支援を行います。										
	運動・感覚	排泄、食事等、日常生活の動作を確認し、改善や習得、筋力維持強化を図る。 散歩や、室内での運動、音楽に合わせて手や体を動かす遊びを取り入れ、五感を生かすことができるよう支援する。										
	認知・行動	感覚や、認知など、個々の特性に配慮する。必要に応じて、刺激になるものを置かず、行動障害を予防する。 季節の行事により、制作やお散歩等、戸外活動を取り入れ季節の変化を感じられるよう、支援する。 ブロック遊びにより、空間把握の認知を形成する。										
	言語 コミュニケーション	個々の児童の、発達段階に合わせて声掛けを行う。 必要に応じて、身振り手振りを用いて相互理解を図る。 絵本の読み聞かせ、テーマに沿った会話により言葉の獲得や聞く力を育てる。										
	人間関係 社会性	スキンシップ遊びを通じて、愛着を形成する。 様々な、年齢の子と関わりを持つことで、複数の物の見方を養う。										
家族支援		兄弟を含めた子育てに関する困り事の相談にのる。 子育てや、その子の特性等、情報提供する。						移行支援		特になし		
地域支援・地域連携		見学やボランティア、実習生を受け入れて、交流の場を広げる。						職員の質の向上		支援に関わる前に、カンファレンスをし、児童の特性や、支援内容を話し合う時間を持ちます。定期的に、職員研修を行う。		
主な行事等		誕生日の際、個々に誕生日会を開いています。 季節の行事を、子供たちの特性や、ニーズに合わせて配慮しながら行う。										